

# 森と火の

# 環境史

近世・近代日本の焼畑と植生

米家泰作 著

火を用いた人と環境との関わりとして焼畑をとらえ、焼畑の近世的展開と「進化」、土地制度史と焼畑、火と植生のポリティクス(政治)を問う。「人為の火」という観点から、日本の焼畑の歴史地理と環境史を再考する試み。

▼A5判上製・三八〇頁／定価：本体 七、五〇〇円(税別)

ISBN978-4-7842-1973-5

【二〇一九年十一月刊行】

## 目次

### 第一部 近世日本の焼畑と検地

#### 第一章 紀伊山地における焼畑の展開と「進化」

- 一 紀伊山地の概観
- 二 近世の焼畑とその農法の特徴
- 三 樹木栽培の展開と植生への影響

#### 第二章 出羽国村山郡におけるカノの展開と検地

- 一 検地におけるカノ畑の処遇
- 二 カノ畑の分布と所持
- 三 カノの農法的性格とその変化

#### 第三章 太閤検地における山畑と焼畑

- 一 織田検地
- 二 西国の天正太閤検地
- 三 天正の外様大名検地
- 四 東国の天正太閤検地
- 五 文禄・慶長検地

#### 第四章 地方書にみる焼畑とその概念

- 一 一七世紀の地方書と「山畑」検地
- 二 焼畑をめぐる語彙と地目
- 三 総称的概念としての「焼畑」

### 第二部 近代日本の焼畑・植生・学知

#### 第五章 近代日本の林学と焼畑像

- 一 植民地林学と焼畑
- 二 日本の近代林学と焼畑
- 三 近代日本の林政と焼畑

#### 第六章 近代林学と国土の植生管理

- 一 植生帯をめぐる三つの学説
- 二 植生の改変とその環境史的復原
- 三 自然の回復と植生管理の思想

#### 第七章 原野の火入れと学知のポリティクス

- 一 明治・大正期の林政と原野
- 二 近代林学と「荒廃」原野
- 三 木曾からの反論

#### 第八章 植民地朝鮮における焼畑と学知のポリティクス

- 一 地図化された想像の環境史
- 二 学知の構築と焼畑像の修正
- 三 植民地社会における環境主義的言説

こめいえ・たいさく…京都大学文学研究科 准教授

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	森と火の環境史	本体7,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1973-5	
お名前		tel		本書HPのQRコード	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				